



# 京都ビッグデータ活用プラットフォーム

## -コミュニティ/実証・事業化WGの概要-

京都ビッグデータ活用プラットフォーム運営協議会  
( (一社) 京都スマートシティ推進協議会 / (公財) 京都産業21 / 京都府文化学術研究都市推進課 )

# (1) 令和4年度 京都ビッグデータ活用PF活動方針

過年度までの活動の良さ(ゆるやかなつながり・ネットワーキングの機会)は残しつつ、「人が主役のスマートで安寧な社会の実現」に向けて、**新たな事業の創出に向けた取組**を加速します。

## これまでの取組 (R元～R3年度)

### 【成果】

複数の課題別WG (計13個)が立ち上がり、活発に議論

### 【課題】

- ・具体的な成果が見えない
- ・WGによって、やり方や温度感にばらつきがある
- ・WGのゴール設定が曖昧
- ・実証実験に係る費用負担・責任所在等が不透明 等



## 令和4年度からの取組

### 【新たな方針】

既存の仕組の良さはそのままに、より成果にこだわり、新事業創出や地域課題の解決に繋げるスキームに再構成

### ＜主な変更点＞

- ①課題別WGを「コミュニティ」と「実証・事業化WG」に分解し、会員のニーズに応じた支援メニューを用意
- ②「コミュニティ」と「実証・事業化WG」とともに、事前に会員（企業・自治体）からテーマ募集し、BtoB、BtoG等のマッチングに基づいて計画的に活動を支援
- ③「実証・事業化WG等」の共通ルールを策定。WGを先導するオーナーの設定や責任所在などを明確化
- ④国・府補助事業等の情報共有を強化し、具体的な実証・事業化を支援（オブザーバー支援含む）

## (2) 令和4年度からのご提供サービス (★ = 赤字変更箇所)



01

### 京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議への参加

従来どおり、産学公の多様なプレイヤーが集う京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議を開催し、スマートシティやIoT、ビッグデータに関する最新の情報をご提供します。



02

### コミュニティ形成支援★

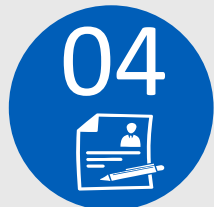
会員の皆様がより自由に課題感を共有し、共同で解決策を議論するなど、組織を超えて活発なネットワーキングを可能とする場をご提供します。



03

### 実証・事業化WG支援★

自治体から会員企業への提案募集(事業アイデア・実証実験)や、会員企業から自治体への自由な事業提案など、課題解決に直結するWGの立ち上げをサポートします。



04

### 国・府補助事業情報の積極提供／オブザーバー支援★

国や京都府が実施する補助事業の情報を事務局が収集し、情報発信を強化します。また、ご要望に応じてオブザーバーとして申請・事業実施をサポートします。



05

### データ利活用の支援【※準備中】

官民データが流通する「データ流通取引市場（構築予定）」をオープンし、会員が保有するデータの流通の促進及び会員のデータ活用を支援します。

# (3) 令和4年度からの活動支援スキーム

ワーキング活動の位置づけを見直し、課題共有やネットワーキングを目的とした「コミュニティ」と、事業立ち上げに特化した「実証・事業化WG」を設け、課題マッチング等、事業組成をよりご支援します。

## 01 情報収集

京都ビッグデータ  
活用PF全体会議



専門セミナー

## 02 課題の共有・ ネットワーキング

new  
コミュニティ

会員の皆様により自由に課題感を共有し、共同で解決策を議論するなど、組織を超えて活発なネットワーキングを可能とする場をご提供します。

課題を共有し、  
解決策を議論

興味のあるテーマで  
ネットワーキング

## 03 事業化特化 グループ形成

new  
実証・事業化  
WG

自治体から会員企業への提案募集(事業アイデア・実証実験)や、会員企業から自治体への自由な事業提案など、課題解決に直結するWGの立ち上げをサポートします。

実証等、事業化に  
向けた取組を推進

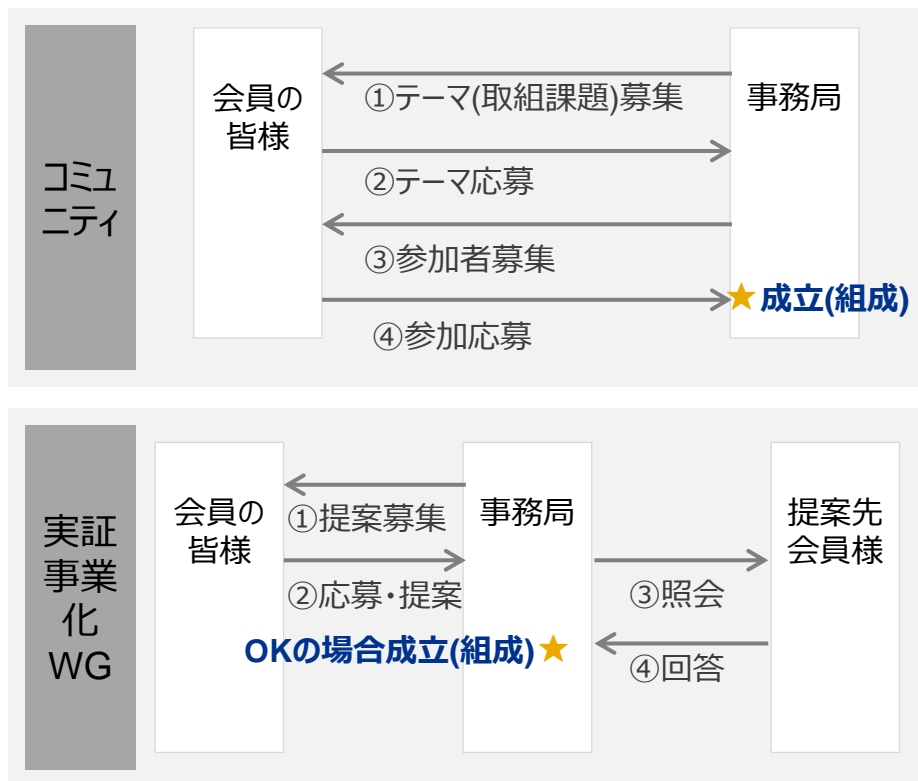
国・府補助  
事業も活用

<変更点>  
従来の課題別WG活動を  
発展的組み替え

## (4) コミュニティ/実証・事業化WGの運営方法

コミュニティ/実証・事業化WG組成の応募者が自らオーナーとなり、スケジュール、アウトプット創出等、裁量を発揮いただきながらコミュニティ/実証・事業化WGを運営可能とします(事務局はモニタリングを実施)。

### 組成プロセス



### 運営に係る役割分担

- コミュニティのテーマ/WGに応募を行った会員が当該コミュニティ、実証・事業化WGの“オーナー”に就任
- 各オーナーは、一定の裁量でコミュニティ/実証・事業化WGを運営(スケジュール管理、アウトプットに向けたWG参加者とのコミュニケーション、事務局への月次状況報告、とりまとめ等)
- 事務局は、コミュニティ/実証・事業化WGオーナーからの月次報告を通じて状況をモニタリング

## (5) 京都ビッグデータ活用PF会員規約の見直し

### 実証・事業化WG等任意規約の策定 (WG内ルール) **new**

- 基本ルールを前提としつつ、権利関係の取り扱いについてはWGの主催企業・団体の裁量において整理
- 国補助事業等を活用する場合は、当該事業上の整理が適用

データ利活用  
サービス規約  
(策定済)

### 京都ビッグデータ活用PF会員規約改定 (基本ルール) **改定**

- 活動目的にプラットフォームが提供する各種サービスを明記。
- 新設するコミュニティ及び実証・事業化WGの運営ルール（プロジェクトオーナーの設置、任意規約策定、安全管理義務などを明記）を記載
- 秘密保持に係る記載を追加。活動を通じて新たに生まれる新たな知的財産に係る取扱いの協議方針・主体に係る記述を追加。

# (6) 令和4年度 全体活動スケジュール(見通し)

実施メニュー	令和4年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体会議	第10回全体会議					京都スマートシティexpo					第11回全体会議	
各種セミナー			#1			#2			#3			#4
コミュニティ	応募テーマ募集		参加者募集	コミュニティ運営(任意期間)								
実証・事業化WG	a 会員自治体から会員企業への提案募集支援 (事業アイデア・フィールド実証)											
	課題/テーマ募集		参加募集/マッチング		WG (任意期間)							
	b 会員企業から会員自治体への勝手提案支援 (事業アイデア・フィールド実証)											
国・府補助金情報提供	課題/テーマ募集		参加募集/マッチング		WG (任意期間)							
			情報提供			情報提供			情報提供			情報提供

※ 情報提供のタイミングは目安であり、不定期な情報発信となる場合もあります。

## 参考：Q&A一覧

No	Q	A
01	<ul style="list-style-type: none"><li>● 仮に自治体や特定企業に対して事業案を提案したがWG組成に至らなかった場合、提案した内容の取扱いはどうなるのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 会員企業の皆様のアイデア・ノウハウを保護する観点から、WG組成に至らなかった場合の提案内容は非公開とする予定です。</li><li>● なお、WGが成立した場合、WG内での議論は原則非公開とする想定ですが、公開討議を行いたい等の要望がある場合、その支援を行います。</li></ul>
02	<ul style="list-style-type: none"><li>● WGに複数企業が参加する場合、WG内で議論されたビジネスアイデアや実証を通じて獲得した技術知見等についての権利関係はどのように整理されるのか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● オープン・イノベーションのスタンスを前提としていただき、WG内での議論や取組を通じて共同事業案などの成果が生まれた場合、例えばIP化などの取組を検討いただくなど、WG参加者の皆様において適宜協議いただくことを想定しています。</li></ul>
03	<ul style="list-style-type: none"><li>● 会員自治体から会員企業への提案募集支援について、この支援を通じてWGが立ち上がった場合、当該WGで議論されたビジネスアイデアは事業化が確約されるか。 また、受託事業の形式をとることとなった場合、提案者の受注は確約されるか。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本取組は、課題を解決するための方法を提案いただくことを通じて、会員である自治体の皆様と民間企業の皆様との対話の機会を提供するものであり、事業化・受注を確約するものではありません。</li><li>● なお、会員企業から会員自治体への提案支援についても同様です。</li></ul>



# 各種様式

# コミュニティ 提案募集シート

団体名	●●市、●●●●(株)もしくは●●大学等		
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他(スマートシティ)※複数回答可		
コミュニティ 組成理由	A.特定テーマに関する事例研究 例:地域住民の健康促進に資する取組事例、官民連携手法(PPP、PFI等) B.特定課題に関する情報交換 例:デジタルを活用した新型コロナウイルス感染症対策		
取組概要	<p>現在、国の政策であるデジタル田園都市国家構想が推進されており、今後、急速にスマートシティやDX等が進むことが予想される。そのような中で、デジタル実装したサービスをどのような実施体制でどのように継続維持していくのか、またマネタイズして自走させるのか、非常に悩ましく、頭を抱えている。</p> <p>共に検討してくれる企業を募り、全国の事例の収集や、持続可能な実施体制モデルを検討したい。(→将来的には実証・事業化WGに移行することも見据えて)</p>		
活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年(6月開始、8月事例収集、11月アンケート実施、1月セミナー開催)		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】

# コミュニティ 参加希望シート

団体名	●●市、●●●●(株)もしくは●●大学等						
参加希望番号							
コミュニティ 参加理由	<p>例1)本自治体でも、スマートシティを進めていきたいが、同様の課題を抱えており、予算 査定で耐え得る内容をともに検討したい。</p> <p>例2)弊社は、全国のいくつかの自治体でスマートシティを進めており、何例か実際の ビジネスモデルや実施手法をご紹介できるので、一度お話を聞かせていただきたい。</p>						
団体概要 (特徴など)	弊社(本市)は……						
担当者連絡先	<table><tr><td>【所属】</td><td>【役職】</td><td>【氏名】</td></tr><tr><td>【電話番号】</td><td>【メールアドレス】</td><td></td></tr></table>	【所属】	【役職】	【氏名】	【電話番号】	【メールアドレス】	
【所属】	【役職】	【氏名】					
【電話番号】	【メールアドレス】						

# 実証・事業化WG提案募集シート TYPE1(官→民)

自治体名	●●市		
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他( ) ※複数回答可		
WG組成理由	R5年度に健康分野の新規事業の予算要求を検討しており、健康アプリを作れるIT企業等と連携し、新しい健康増進プロジェクトを検討したいため。		
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	当市は、深刻な少子高齢化に加え、生産年齢人口に対して、医師数が下回っており、若年層の未病対策や高齢者の健康予防等のフレイル対策が急務。健康増進を自然に促すスマートライフアプリを検討したい。  【※具体の提案先名(企業名)があれば記載ください】		
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	6ヶ月(6月WG開始、8月実証実験、11月予算要求提案)		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】

# 実証・事業化WG提案募集シート TYPE2(民→官)

団体名	●●●●(株)もしくは●●大学等		
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他( ) ※複数回答可		
WG組成理由	弊社で新しいソリューションを開発したため、市町村や地域を巻き込み、実証実験がしたい。関心のある市町村と連携し、共同プロジェクトを実施したい。		
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	●●市は、今後高齢化が確実に進む地域であり、住民の日常生活の主な移動手段はマイカーであり、車なしでは日常の移動に支障をきたす地域と言える。快適で安心できる持続可能な交通インフラ整備を進めていくことが必要であるため、弊社が開発した次世代型モビリティであるオンデマンド自動運転バスを提案する。  【※具体の提案先名(自治体名)があれば記載ください】		
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年 (6月WG開始、9月実証実験計画策定、11月実証実験、2月検証・サービスプラン提案)		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】

# 実証・事業化WG提案募集シート TYPE3(民→民)

団体名	●●●●(株)もしくは●●大学等		
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他( ) ※複数回答可		
WG組成理由	弊社でコロナ対策用のアプリを開発したので、実フィールドで実証実験し、サービス実装に向けた検証をしたいため。		
解決したい課題 (WGで検討したいこと)	昨今のコロナ蔓延を受け、人の集まるイベントや会議などの実施が滞り、大きな経済損失に繋がって居る。これらを受け、弊社はPCR検査結果や抗原検査結果をアプリに連携させ、相互認証できるソリューションを開発した。本アプリを使い、参加者とイベント主催者の安心・安全環境を担保することで、人の集まるイベントや会議などの円滑な実施を支援する。 これらを検証できる大学やイベント施設、民間事業者などのフィールドをお借りし、検証したい。 【※具体の提案先名(企業名)があれば記載ください】		
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	1年 (6月WG開始、9月実証実験計画策定、11月実証実験、2月検証・サービスプラン提案)		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】

# 実証・事業化WG 参加希望シート

団体名	●●市、●●●●(株)もしくは●●大学等		
参加希望タイプ	<u>TYPE1(官→民提案)</u>	TYPE2(民→官提案)	TYPE3(民→民提案)
参加希望番号			
WG参加理由	<p>弊社では、ウェアラブルデバイスからバイタルデータを取得し、健康増進をレコメンドできるアプリを開発予定。弊社は、過去に●●市で健康実証実験で蓄積したノウハウがあり、その知見を活かしたい。</p>		
会社概要 (強みや特徴など)	<p>弊社は、令和元年に立ち上げた大学発のベンチャー企業であり、数多くのピッチ会に出場し、出資を受けている。特に、健康レコメンドのアルゴリズムの開発に注力してきたため、他社にない強みを持っている。今後、弊社の●●を使えば……………</p>		
担当者連絡先	【所属】 【電話番号】	【役職】 【メールアドレス】	【氏名】